

3-4

重度化する利用者へのアクティビティとリスクテイクへの挑戦

「全ての利用者にお花見を」目指して…

アクティビティ

外気浴・外出支援

社会福祉法人池上長寿園大田区立特別養護老人ホームたまがわ

介護職員 高野愛三

介護職員 西山佳吾 藤本奈保子 佐藤仁美

東京都大田区下丸子4-23-1

TEL 03-5732-1021

E-mail tamagawa.y@ikegami.or.jp

FAX 03-5732-1024

URL <http://www.ikegami.or.jp/tamagawa/newpage1.htm>

今回の発表の施設
またはサービスの
概要

当施設は、H12年5月開設。特養200床・ショートステイ40床の大規模な従来型の施設です。「あらゆるニーズに応える…それがプロ」「その人がその人らしく生きることを支える為に私達がいる」「皆が皆を…家族もチームの一員」「楽しみ、喜びを共有しよう」の基本理念を柱に、利用者のQOLの向上に取り組んでいます。

〈取り組んだ課題〉

当施設は、年間延べ5000人にのぼるボランティアの協力のもと季節・年中行事、クラブ、喫茶・居酒屋・売店運営等、委員会を組織し様々なアクティビティ・サービスに取り組んでいる。

- 利用者の重度化に伴う参加者の減少や、限定化という課題があり、クラブや行事のあり方を検討。
- お花見は平成15年度より毎年、季節の行事として実施しており、利用者が楽しみにしている。
- 本年度は全ての利用者が参加可能なアクティビティ・サービスとして、お花見(外気浴・外出)を位置づけ、リスクマネジメントの視点も課題とし、具体的な取り組みを実施。

〈具体的な取り組み〉

《準備》

- ①ポスター作成及び掲示
 - ②「実施要項」「マニュアル」作成→各部署配布
 - ③付き添い人員確保
各部署協力要請、ボランティア協力依頼
 - ④お花見順路の下見
お花見順路地図作成→各部署配布
 - ⑤お花見後のお茶の会の準備・防寒具の用意
- 《実施》
- ① 実施期間…3/31~4/8 (他活動開催日中止)
 - ②利用者:引率者=1対1以上の引率者の確保
(職員・ボランティア・家族)
 - ③お花見ルート設定(天候/参加利用者に合わせて2種類設定)
 - ④看護師への確認(利用者の体調等)
他の行事やクラブ活動に参加困難な利用者(=重度利用者)に対して個別対応でのお花見実施

《終了後》

- ご協力いただいた全ての方々に感謝の想いを込めて「お花見を終えて」のポスター貼付・他部署に簡単なお礼状・ボランティアにお礼状と共に写真を手渡す。
- 4月中旬「お花見委員会」反省会実施。

〈活動の成果と評価〉

- (成果)・多くの利用者(90%)がお花見に参加し、外出や外気浴の機会を提供出来た。
- ・個々の身体状況に合わせたお花見を実施することが出来た。
 - ・参加後容態急変等もなく、無事故で終了。
- (評価)危険だから何もしないではなく…
- どうしたら安全を保てるかの考察
 - 計画・企画立案(リスクテイクの取り組み)
 - 利用者・家族…満足度の向上
 - 職員…自信とやりがいにつながった
 - ・多くの利用者の思い出の写真が残せた。

〈今後の課題〉

- 介護職以外の引率者に対して利用者の情報提供の方法が難しい⇒的確な情報提供について検討する。
- 緊急事態の連絡方法や医務室との連携等、事前準備の中でさらに検討が必要。
- 重度利用者を含めた“全ての利用者にお花見に参加していただきたい”という思いと“それによりリスクが高まり利用者自身への負担が大きいのではないか”という思いも、どちらもそれぞれが利用者を思っていることである。お花見に限らず利用者にとって一番よいケアとは何なのか、押し付けや思い込みで悩んでいないか、考えるきっかけとなった。今後も職員間で議論を重ねて行きたい。